

村上市 市民協働のまちづくり

地域まちづくり組織 活動分析レポート

【令和2年度版】

＜地域人材育成業務委託報告＞

令和3年3月

特定非営利活動法人 都岐沙羅パートナーズセンター

【目次】

はじめに	1
I 組織体制及び運営	3
①常設している専門部会	3
②住民の協議会運営への参画	5
II 事業内容及び事業費	6
①協議会が実施した事業の全体像	6
②集落・団体活動支援補助の状況	9
③協議会主催事業の状況	11
④施設整備・備品購入の状況	14
⑤積立金の状況	15

はじめに

村上市では、地域の元気づくりとして、市民と行政が一体となり、「市民協働のまちづくり」に取り組んでいる。この具体策の1つとして、平成23年度末、町内や集落が一定規模単位でまとまった「地域まちづくり組織（以下、「まちづくり協議会」と表記）」が、市内に17組織設立された。村上市は各まちづくり協議会に担当職員を配置し、地域住民と共に活動を行う人的支援と、地域まちづくり交付金による財政支援を行っている。こうした手厚い支援を受け、各まちづくり協議会では、地域の特色を活かした活動が展開されている。

本報告書は、市内にある17のまちづくり協議会について、各協議会が公開している平成24～令和元年度事業報告を整理・分析し、横断的に活動状況を整理したものである。

※数値の一部に誤りがあったため令和4年3月に修正

【活動分析を進める上での事業区分の設定について】

各まちづくり協議会は、設立当初に作成した「まちづくり計画」に沿って年度ごとに事業計画を立案し、事業を実施している。事業の内容や事業費（地域まちづくり交付金）の使途は協議会ごとに特色がでているものの、事業区分が各協議会独自に設定されているため、そのままでは全体像の把握が困難である。

そこで、本報告書では、各協議会の事業内容を踏まえて以下のような事業区分を設定し、各協議会の事業内容及び事業費の使途の整理を行った。

種類	事業区分	内容
集落・団体支援	集落活動支援（補助金）	・協議会から町内会・集落への活動支援（補助・助成金）
	団体活動支援（補助金）	・協議会から各種団体への活動支援（補助・助成金）
協議会主催事業	環境整備	・地区内の環境や施設等の維持・保全に関する取り組み
	資源活用・文化継承	・地域資源調査や資源を活用した取り組み ・伝統文化などの継承に関する取り組み
	住民交流	・住民同士の交流、親睦を深める取り組み
	人材・ネットワーク育成	・まちづくりの担い手の育成 ・まちづくりに関わる人同士の交流
	福祉・健康増進	・福祉（高齢者・障がい者・子育て支援）に関する取り組み ・住民の健康増進（スポーツ系含む）に関する取り組み
	安全安心	・防犯、防災になどの取り組み
	産業振興・地域振興	・産業振興に関する取り組み ・地域振興（地区の活性化）に関する取り組み
	情報発信	・広報、情報発信に関する取り組み
	その他	・上記以外の取り組み

また、事業費の使途については、以下の区分も設定した。

	施設整備・備品購入	・施設整備や備品購入経費
	積立	・基金としての積立金
	運営費	・協議会運営に関わる各種経費

I. 組織体制及び運営

各まちづくり協議会の体制は、平成23年度の組織立ち上げに向けた検討の中で話し合わせ構築されたものである。町内会や集落組織などの既存組織の位置づけ・参画方法などを十分に加味し、各地域の実情を踏まえながら組織体制は各々で構築された。

①常設している専門部会

まちづくり協議会の体制は、総会や役員会など意思決定に関するものは、さほど大きな違いは見られない。その一方で、専門部会の設置については各協議会の特徴が表れている。

平成28年度には、複数の協議会で地域づくり計画の見直しが行われ、専門部会の統廃合・再編成もこれに合わせて実施された。これらの協議会は、平成29年度より新たな専門部会編成で活動を展開している。

令和元年度については前年度からの変更は無かった。

Point-1

常設の専門部会を設置しているのは **12** 協議会

Point-2

最も多いテーマは、平成28年度までは産業振興・地域振興だったが、

平成29年度からは **住民交流** となっている。

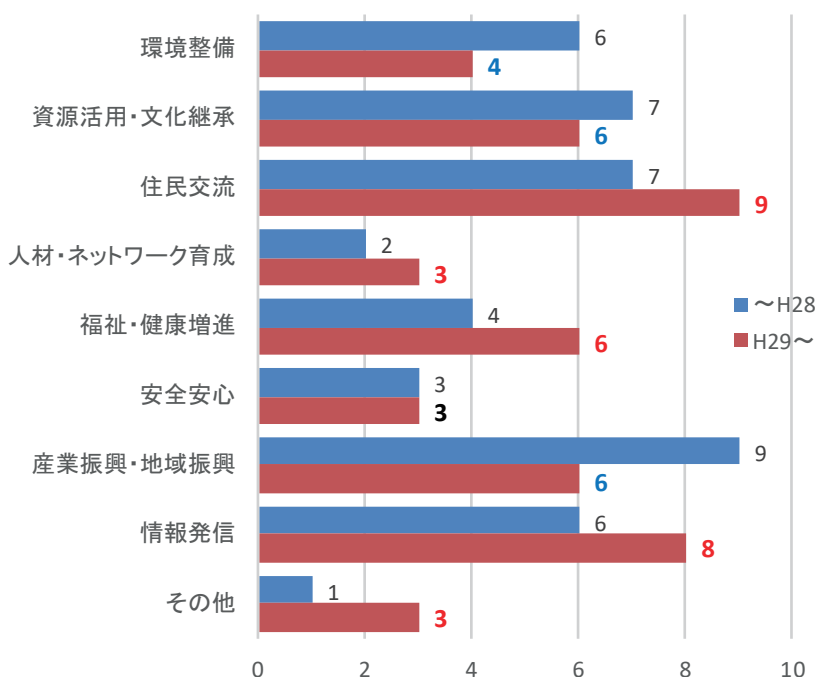


図1 常設専門部会のテーマ別設置状況

表1 各協議会における常設の専門部会の設置状況

テーマ 協議会	環境整備	資源活用 文化継承	住民交流	人材ネット ワーク育成	福祉 健康増進	安全安心	産業振興 地域振興	情報発信	その他
山北	環境文化		地域 コミュニティ	地域 リーダーズ		安全安心	産業交流		地域 パートナーズ
館腰		歴史文化	交流活動				産業振興	総務広報	
三面	環境		交流企画				地域振興	広報	
高根	環境福祉		交流		環境福祉		地域振興	広報	
猿沢		歴史環境	交流事業		健康福祉		産業開発	まちづくり 推進	
塩野町		スクラム ネット観光	あぐり ふれあい	スクラム ネット観光	あぐり ふれあい		あぐり ふれあい	ほっとニュース ステーション	
村上	環境整備	伝統文化				生活安心	地域活性		
岩船		文化事業	ちいき 元気		スポーツ 事業			広報事業	
瀬波		ふるさと 歴史	ふれあい 交流		けんこう 福祉	あんしん 安全			
山辺里	かんきょう		つながる		ふれあい	せいかつ	地域活性化	はっしん	
上海府	環境安全						地域活動		
神納									
神納東									
平林									
砂山									
西神納									
荒川				育成				支援・情報	事業

赤 H29より新設・再編・改称した部会
 緑 H29より再編・改称し、複数分野をカバーする部会
 グレー H28で廃止・統合した部会

※平成30年度については、前年度からの変更は無かった。

②住民の協議会運営への参画

組織の運営や事業の実施にあたっては、各組織で数多くの会議が開催されている。会議回数の増加は、「住民負担の増加」という面はあるものの、「住民同士で地域のことを話し合う機会の増加」という意味合いもある。

そこで、各組織の事業報告書に記載されている会議回数等を整理・分析し、どれくらい「住民同士での話し合い」が行われているのかを整理した。

<調査方法>

- A 各組織の事業報告書（H24～R1）の会議開催記録を抽出し、回数・出席者数を計測。
- B 事業報告書に記載の無い組織が複数あることから、①の結果から1協議会あたりの平均値を算出し、その数値に組織数を乗じることで、17組織全体での推計値を算出。

Point

【R1年度推計値】

1 協議会が1年間で開催する会議の回数（平均） **27.5回**

※過去5年間の推移 H26：23.8回→H27：29.3回→H28：26.7回→H29：31.0回→H30：30.5回

1回あたりの出席者数（平均） **8.8人**

※過去5年間の推移 H26：10.4人→H27：9.7人→H28：10.5人→H29：9.4人→H30：9.1人



市全体（17組織）で1年間に開催される会議の回数及び出席者数

のべ **468回・4,114人**

※過去5年間の推移

開催回数 H26：405回→H27：499回→H28：454回→H29：527回→H30：519回

出席者数 H26：4,196人→H27：4,815人→H28：4,790人→H29：4,972人→H30：4,696人

※1回の会議時間を2時間とした場合、

1年間で話し合いに費やした時間は

のべ **936時間**（約39日間）

※過去5年間の推移

H26：810時間→H27：997時間→H28：908時間→H29：1,054時間→H30：1,037時間

（約34日間）（約42日間）（約38日間）（約44日間）（約43日間）

Ⅱ. 事業内容及び事業費

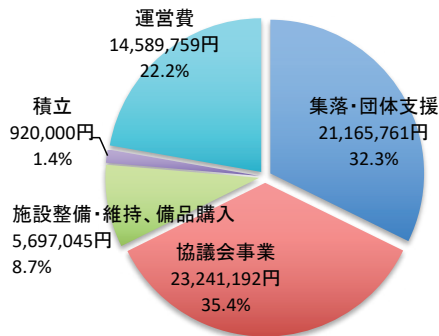
① 協議会が実施した事業の全体像

各協議会が実施した事業を事業費ベースで整理すると、表3及び図5のようになる。

表3 17 協議会全体での過去5年間（H26～R1）の事業費内訳 上段：事業費（円）／下段：前年比増減

		H26	H27	H28	H29	H30	R1
集落・ 団体支援	集落活動支援 （補助金）	16,502,093	15,200,956	14,605,761	14,593,086	14,601,698	13,360,486
		+17.0%	▲7.9%	▲3.9%	▲0.1%	+0.1%	▲8.5%
	団体活動支援 （補助金）	3,534,721	4,902,957	4,313,548	5,916,793	5,012,155	7,805,275
		+11.9%	+38.7%	▲12.0%	+37.2%	▲15.3%	+55.7%
	小計	20,036,814	20,103,913	18,919,309	20,509,879	19,613,853	21,165,761
		+16.1%	+3.3%	▲5.9%	+8.4%	▲4.4%	+7.9%
協議会主催 事業	環境整備	2,817,362	2,316,613	2,265,719	1,714,883	1,609,455	1,953,361
		▲21.0%	▲17.8%	▲2.2%	▲24.3%	▲6.1%	+21.4%
	資源活用 文化継承	4,382,787	8,155,306	5,604,737	4,513,886	4,702,829	3,167,669
		▲40.4%	+86.1%	▲31.3%	▲19.5%	+4.2%	▲32.6%
	住民交流	5,889,289	5,790,388	6,091,307	6,148,152	5,721,831	5,975,908
		+21.1%	▲1.7%	+5.2%	+0.9%	▲6.9%	+4.4%
	人材・ネット ワーク育成	2,834,317	1,225,848	1,382,585	1,839,691	1,074,244	1,132,334
		+29.5%	▲56.7%	+12.8%	+33.1%	▲41.6%	+5.4%
	福祉 健康増進	2,083,016	1,063,590	1,417,408	1,238,501	1,773,501	1,366,653
		+111.5%	▲48.9%	+33.3%	▲12.6%	+43.2%	▲22.9%
	安全安心	594,017	773,354	600,245	400,185	982,712	883,098
		▲21.5%	+30.2%	▲22.4%	▲33.3%	+145.6%	▲10.1%
	産業振興 地域振興	2,211,445	5,910,915	5,379,712	4,332,049	4,554,986	3,611,426
	+50.0%	+167.3%	▲9.0%	▲19.5%	+5.1%	▲20.7%	
情報発信	5,984,490	4,742,025	5,116,747	4,469,159	5,560,530	4,594,328	
	+8.9%	▲20.8%	+7.9%	▲12.7%	+24.4%	▲17.4%	
その他	127,632	300,731	442,894	288,401	708,425	556,415	
	▲84.4%	+135.6%	+47.3%	▲34.9%	+145.6%	▲21.5%	
	小計	26,924,355	30,278,770	28,301,354	24,944,907	26,688,513	23,241,192
		▲3.1%	+12.5%	▲6.5%	▲11.9%	7.0%	▲12.9%
施設整備・ 維持備品購入	2,501,491	11,098,482	6,710,857	8,090,962	6,409,498	5,697,045	
	▲18.7%	+343.7%	▲39.5%	+20.6%	▲20.8%	▲11.1%	
積立	4,970,625	1,411,533	3,530,102	4,580,011	2,610,077	920,000	
	+54.4%	▲71.6%	+150.1%	+29.7%	▲43.0%	▲64.8%	
運営費	9,610,503	10,450,018	11,078,020	11,939,597	11,594,510	14,589,759	
	+2.8%	+8.7%	+6.0%	+7.8%	▲2.9%	+25.8%	
	計	64,043,788	73,342,716	68,539,643	70,065,356	66,916,451	65,613,757
		+6.0%	+14.5%	▲6.5%	+2.2%	▲4.5%	▲1.9%

Point 令和元年度の事業費内訳は、



32.3% が集落・団体支援補助
35.4% が協議会主催事業費

図5 R1 年度事業費の内訳 (17 協議会全体)

【事業費比率の推移】

平成 26 ～ 令和元年度の事業費内訳 (比率) の推移は図6 のとおり。

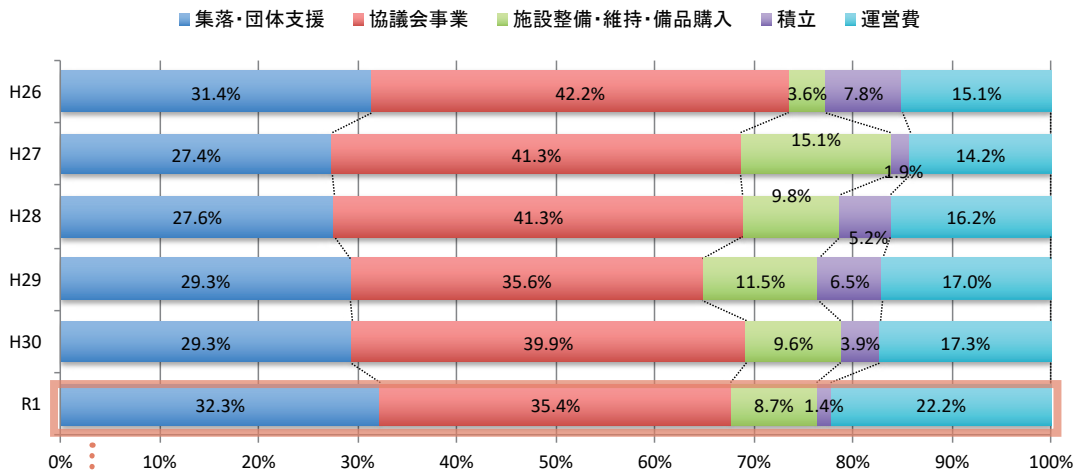


図6 事業費比率の推移 (17 協議会全体)

R1のPoint

集落・団体支援の割合は前年度から **増加 (+3.0%)**

事業費ベースで対前年比 **7.9%増**

協議会主催事業の割合は前年度から **減少 (▲4.5%)**

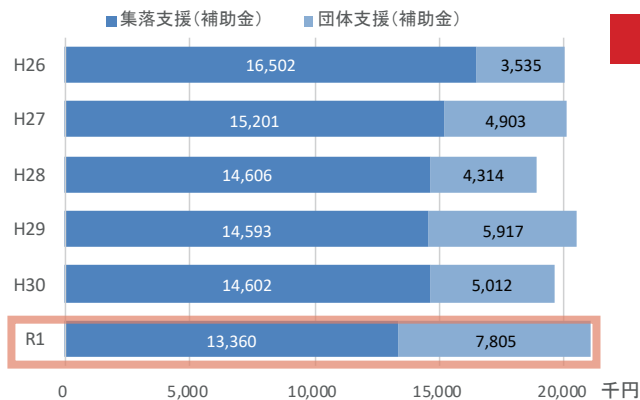
事業費ベースで対前年比 **12.9%減**

施設整備・維持、物品購入の割合は前年度から **減少 (▲0.9%)**

事業費ベースで対前年比 **11.1%減**

a 集落・団体活動支援（補助金）の推移

集落・団体活動支援補助金支出の推移は図7のとおり。



R1のPoint

集落支援は **減少**

※補助金支出額は対前年比

8.5%減

活動支援は **増加**

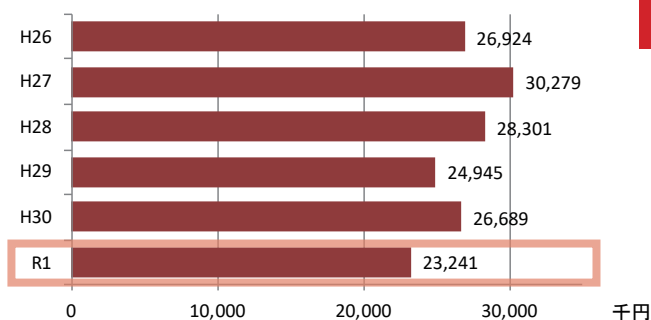
※補助金支出額は対前年比

55.7%増

図7 集落・団体活動支援補助金支出の推移 (17 協議会全体)

b 協議会主催事業費の推移

協議会主催事業費支出の推移は図8のとおり。



R1のPoint

前年度から **減少**

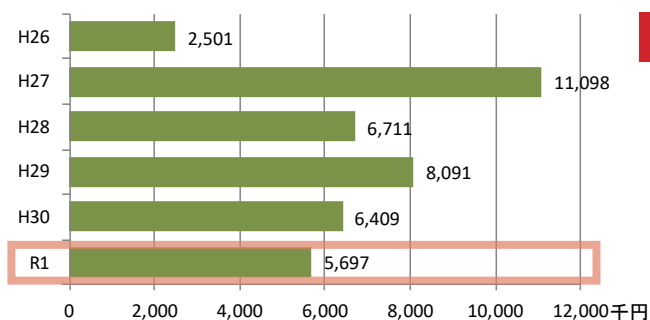
※支出額は対前年比

12.9%減

図8 協議会主催事業費支出の推移 (17 協議会全体)

c 施設整備・備品購入費の推移

施設整備・維持、備品購入費支出の推移は図9のとおり。



R1のPoint

前年度から

減少

※支出額は対前年比

11.1%減

図9 施設整備・維持、備品購入費支出の推移 (17 協議会全体)

d 積立金の推移

各年度の積立金支出の推移は図 10 のとおり。

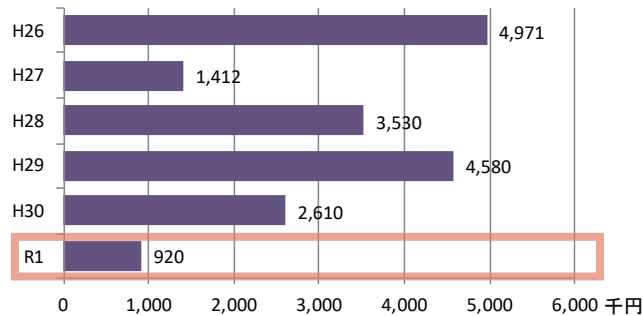


図 10 積立金支出の推移 (17 協議会全体)

R1のPoint

前年度から

大幅に減少

※積立額は対前年比

64.8%減

e 運営費の推移

各年度の積立金の推移は図 11 のとおり。

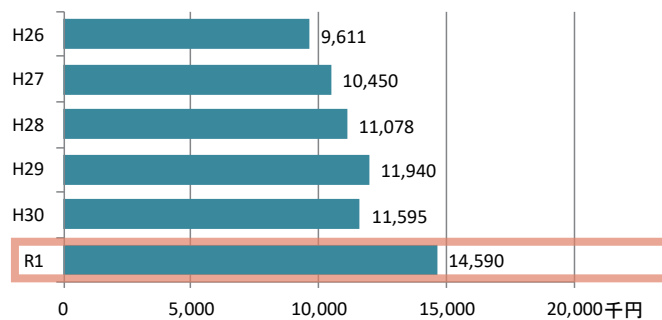


図 11 運営費支出の推移 (17 協議会全体)

R1のPoint

前年度から

増加

※支出額は対前年比

25.8%増

②集落・団体活動支援補助の状況

大半の協議会で、集落や市民団体への活動支援補助を実施している。その内訳は以下のとおり。

集落活動支援補助を実施 **16** 協議会

団体活動支援補助を実施 **6** 協議会 ※前年度から -1

◎両方を実施 **5** 協議会 ※前年度から -1

表4 各協議会の集落支援・団体支援の状況（直近5年間）

協議会名	町内・集落数	集落支援事業数						団体支援事業数					
		H26	H27	H28	H29	H30	R1	H26	H27	H28	H29	H30	R1
山北	48	63	58	77	70	58	52	6	11	11	12	8	8
館越	11	7	9	10	8	10	11	-	-	-	-	-	-
三面	10	17	12	15	11	15	14	-	-	-	-	-	-
高根	8	12	12	9	9	10	8	-	-	-	-	-	-
猿沢	9	14	12	13	13	12	17	-	-	-	-	-	-
塩野町	8	12	11	10	13	11	12	-	-	-	-	-	-
村上	41	34	41	38	33	41	35	-	2	2	2	-	-
岩船	16	54	49	56	58	54	57	6	9	8	9	10	9
瀬波	26	79	76	82	85	85	82	10	8	8	8	9	10
山辺里	20	※	※	※	※	※	※	-	-	-	1	1	
上海府	8	6	6	8	13	12	15	1	1	1	1	1	1
神納	10	9	9	9	9	9	9	-	-	-	-	-	-
神納東	6	14	12	12	12	14	10	-	-	1	-	1	1
平林	7	16	16	15	16	15	13	-	-	-	-	-	-
砂山	6	13	7	7	7	7	6	-	-	-	-	-	-
西神納	11	27	28	30	30	30	30	-	-	-	-	-	-
荒川	30	-	-	-	-	-	-	4	7	3	4	5	8
計		404	358	391	387	383	371	27	38	34	37	35	37

※実施はしているものの、事業報告書に内訳は未掲載

表5 17協議会全体での集落・団体支援の内訳（直近5年間）（上段：事業費／下段：支援事業数）

		H26	H27	H28	H29	H30	R1
集落・団体支援	集落活動支援（補助金）	16,502,093円 404事業	15,200,956円 358事業	14,605,761円 391事業	14,593,086円 387事業	14,601,698円 383事業	13,360,486円 371事業
	団体活動支援（補助金）	3,534,721円 27事業	4,902,957円 38事業	4,313,548円 34事業	5,916,793円 37事業	5,012,155円 35事業	7,805,275円 37事業
計		20,036,814円 425事業	20,103,913円 396事業	18,919,309円 425事業	20,509,879円 424事業	19,613,853円 418事業	21,165,761円 408事業

R1のPoint

集落活動支援補助件数は**減少**……………※令和元年度は
事業数は前年比**12件減**
補助額は前年比**約124万円減**

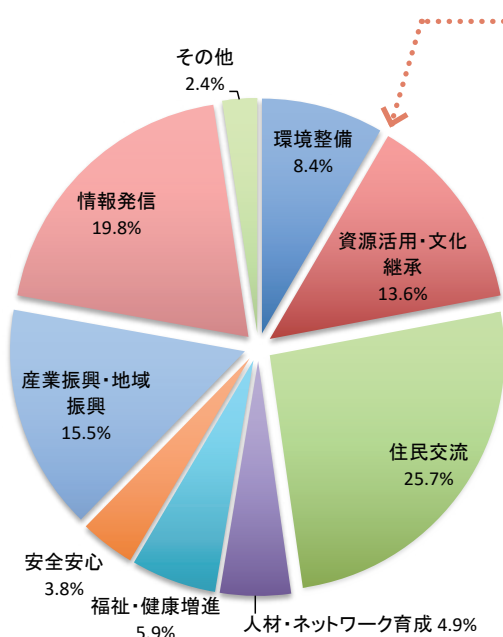
団体活動支援補助件数は**微増**……………※令和元年度は
事業数は前年比**2件増**
補助額は前年比**約279万円増**

③協議会主催事業の状況

協議会が主催する事業の事業費内訳は表6及び図12のとおり。

表6 直近5年間の協議会主催事業の内訳（17協議会全体） 上段：事業費（円）／下段：前年比増減

		H26	H27	H28	H29	H30	R1
協議会主催事業	環境整備	2,817,362	2,316,613	2,265,719	1,714,883	1,609,455	1,953,361
		▲ 21.0%	▲ 17.8%	▲ 2.2%	▲ 24.3%	▲ 6.1%	21.4%
	資源活用・文化継承	4,382,787	8,155,306	5,604,737	4,513,886	4,702,829	3,167,669
		▲ 40.4%	+86.1%	▲ 31.3%	▲ 19.5%	+4.2%	▲ 32.6%
	住民交流	5,889,289	5,790,388	6,091,307	6,148,152	5,721,831	5,975,908
		;21.1%	▲ 1.7%	+5.2%	+0.9%	▲ 6.9%	4.4%
	人材・ネットワーク育成	2,834,317	1,225,848	1,382,585	1,839,691	1,074,244	1,132,334
		+29.5%	▲ 56.7%	+12.8%	+33.1%	▲ 41.6%	5.4%
	福祉・健康増進	2,083,016	1,063,590	1,417,408	1,238,501	1,773,501	1,366,653
		+111.5%	▲ 48.9%	+33.3%	▲ 12.6%	+43.2%	▲ 22.9%
安全安心	594,017	773,354	600,245	400,185	982,712	883,098	
	▲ 21.5%	+30.2%	▲ 22.4%	▲ 33.3%	+145.6%	▲ 10.1%	
産業振興・地域振興	2,211,445	5,910,915	5,379,712	4,332,049	4,554,986	3,611,426	
	+50.0%	+167.3%	▲ 9.0%	▲ 19.5%	+5.1%	▲ 20.7%	
情報発信	5,984,490	4,742,025	5,116,747	4,469,159	5,560,530	4,594,328	
	+8.9%	▲ 20.8%	+7.9%	▲ 12.7%	+24.4%	▲ 17.4%	
その他	127,632	300,731	442,894	288,401	708,425	556,415	
	▲ 84.4%	+135.6%	+47.3%	▲ 34.9%	+145.6%	▲ 21.5%	
計	26,924,355	30,278,770	28,301,354	24,944,907	26,688,513	23,241,192	
	▲ 3.1%	+12.5%	▲ 6.5%	▲ 11.9%	+7.0%	▲ 12.9%	



R1のPoint

- 住民交流 ●資源活用・文化継承
- 情報発信 ●産業振興・地域振興

この4つで事業費全体の

74.6% を占めている。

図12 協議会主催事業の活動分野別事業費比率（17協議会全体）

a テーマ別の主な取り組み内容

各テーマで取り組まれている主な内容は表7のとおり。

表7 テーマ別の主な取り組み内容（17協議会全体）

テーマ	R1年度 事業費比率	主な取り組み例
住民交流	25.7%	交流拠点の運営／文化祭／運動会／収穫祭／料理教室／敬老会／住民交流イベント／情報・意見交換会 など
情報発信	19.8%	広報紙の発行／写真コンテスト／地域行事・小中学校・保育園の行事を一覧にしたカレンダー作成 など
産業振興 地域振興	15.5%	新商品・加工品の開発・販売／体験プログラムの企画・実施／地場製品の販売イベント など
資源活用 文化継承	13.6%	学習会の開催／郷土芸能支援／郷土料理教室／集落ウォーキングイベント／お祭り体験講座／冊子作成／ポスターを活用した紙バックづくり など
環境整備	8.4%	花いっぱい運動／清掃・除草活動／一輪挿し運動／落ち葉等の堆肥化木枠設置／ラベンダー畑・ハーブ園づくり／講演会 など
福祉・ 健康増進	5.9%	地域の茶の間支援／あいさつ運動／スポーツ大会／健康料理教室／集落座談会の開催支援／買物困難者支援（買物バスツアー） など
人材・ネット ワーク育成	4.9%	地域学習・キャリア教育支援／視察研修／講演会／研修・交流会の開催 など
安全安心	3.8%	自主防災に関する研修会／ささえあいフォーラムの開催／災害時用備品購入／救急法講習／子どもたちの見守り活動／非常食料理講習会 など
その他	2.4%	空家対策のための調査／閉校記念事業 など

R1のPoint

事業費ベースでは

行事・イベント型の取り組みが多い。

事業費充当割合は少ないものの、

課題解決に向けた取り組みが模索されはじめている。

b テーマ別事業費の推移

テーマ別事業費の推移は図 13、14 のとおり。

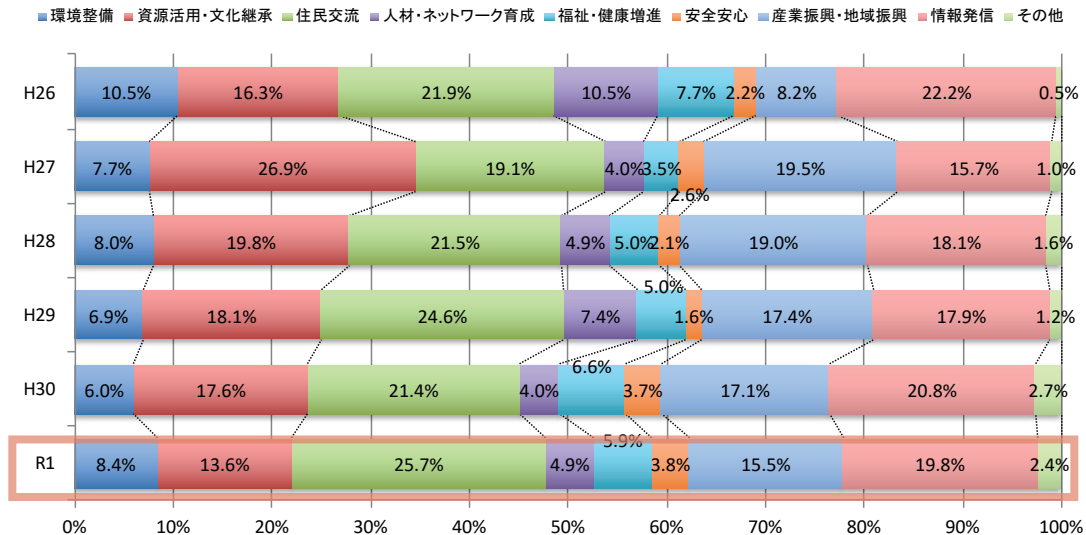


図 13 協議会主催事業の事業費比率の推移 (17 協議会全体)



図 14 事業費比率が高い上位 5 つのテーマ (17 協議会全体)

R1のPoint

- ①住民交流 ③産業振興・地域振興
 ②情報発信 ④資源活用・文化継承 上位 4 つは変わらず。

住民交流の比率が**増加**

④施設整備・備品購入の状況

各協議会の施設整備・維持、備品購入の経費が計上内訳は以下のとおり。

表9 直近5年間の施設整備・備品購入経費の内訳

(単位：円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	備考
山北	0	0	0	0	0	0	
館越	0	86,400	101,700	0	0	96,498	備品購入
三面	0	0	0	0	0	0	
高根	0	175,068	150,120	199,800	117,288	0	
猿沢		31,860	40,751	0	0	0	
塩野町	0	31,860	0	0	0	0	
村上	1,149,999	4,786,828	3,071,064	2,326,774	2,026,202	2,162,525	活動拠点の管理・運営費/事業用備品
岩船	424,335	293,374	283,534	116,760	70,757	86,986	源内塾施設管理費
瀬波	472,522	611,871	1,004,894	404,210	119,416	101,249	備品購入
山辺里	227,027	313,663	273,758	248,838	179,200	374,475	備品購入
上海府	30,418	45,204	27,194	0	0	0	
神納	0	0	0	0	0	0	
神納東				0	0	0	
平林		77,220	0	0	0	0	
砂山	0	0	0	0	0	0	
西神納				0	0	0	
荒川		4,645,134	1,757,842	4,794,580	3,896,635	2,875,312	活動拠点施設費(カフェ人件費/水道光熱費/消耗品・備品購入/工事・修繕費など)
計	2,304,301	11,098,482	6,710,857	8,090,962	6,409,498	5,697,045	

※備考欄の内訳は各協議会の事業報告書より抜粋

R1のPoint

活動拠点維持費の計上は **3** 協議会

(村上、岩船、荒川)

⑤積立金の状況

令和元年度時点で事業実施に向けた積立を行っていたのは7協議会であった。以下にその内訳を示す。

表 10 積立の内訳

(単位：円)

	H26	H27	H28	H29	H30	R1	積立額	積立の用途
山北	500,300	501,236	500,595	500,342	500,385	428	5,003,586	まちづくり協議会拠点施設整備事業積立金
					800,000	5	800,005	関係人口関連事業への積立
					435,014	4	435,018	百姓隊施設整備積立金
館越				900,000	300,077	102	1,200,179	田んぼアート積立金
たかね						50,000	50,000	地域ふれあい交流イベント運営基金
村上				1,000,000	1,000,008	-999,984	1,000,024	M・C・D・P 積立金
岩船						100,000	100,000	源内塾修繕積立基金
上海府 ※1	163	162	318	203	-300,338	102	300,745	まちづくり基金（備品購入・周年事業への備え）
	-4,977	-9,978	-29,992	-10,000	-5,000	-5,000	23,464	スポーツ・文化振興基金
荒川 ※2	2,820,000	-3,820,000	85	43	43	-500,171	0	活動拠点施設整備積立金
	0	153	6	4	4	-500,251	0	みらいファンド助成事業等積立金
			2,300,000	-849,999	11	500,012	1,950,024	財政調整基金積立
総積立額							10,863,045	

※1 平成24年度以前から積立している

※2 活動報告書に基金台帳が未掲載のため推計値

R1のPoint

積立金を有しているのは

7協議会

積立金の

51.0%

が 拠点施設整備

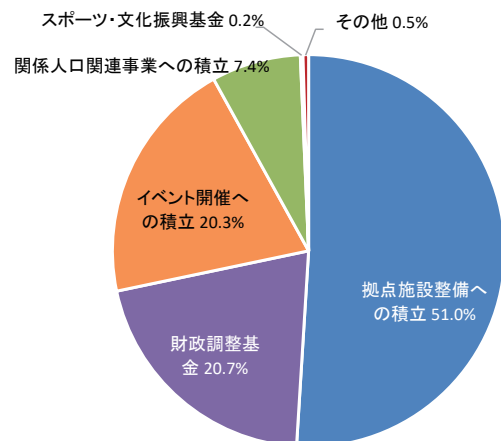


図9 R1年度末時点の積立金の内訳
(17協議会全体)